

令和4年度 デザイン・クリエイティブセンター神戸の管理運営に対する評価票

1. 施設概要、指定管理者等

(1)施設概要 (設置目的、施設内容)	<p>■設置目的 デザイン、アートその他の創造的な活動を通じて社会に貢献する人材の集積を行い、これらの人材や他の人々との間において交流や連携を図ることにより、市民生活の質を向上し、及び経済活動の活性化を図ること。</p> <p>■施設内容 多目的ホール(1階)、ギャラリー(1, 2階)、セミナー・ワークショップスペース(1,3階)、創造的活動・社会貢献活動の交流拠点(3階)、クリエイティブラボ(2, 3, 4階)、神戸市立三宮図書館(2階)</p>
(2)指定管理者	デザイン・クリエイティブセンター神戸運営共同事業体
(3)指定期間	令和3年4月1日～令和8年3月31日
(4)R4市支出額(単位:円)	<p>・協定締結指定管理料 113,000,000円(うち、修繕費 3,000,000円)</p> <p>・決算額 120,787,794円(指定管理料113,000,000円、光熱費高騰による補填7,787,794円)</p>

2. 管理運営内容

(1)管理実施状況		4年度の状況 ※カッコ内数値は3年度実績
①施設の維持管理業務		<p>【三宮図書館受入対応】</p> <p>・三宮図書館移転(R4.7.26)に伴う運営調整、入館者増に対するインフォメーション機能や清掃の充実化</p> <p>【利用者の利便性向上】</p> <p>・レンタルスペース増強(和室101・ギャラリーBを新設)、レンタル条件の一部緩和(控室・楽屋の単独利用対応/ホール・ギャラリーAの定員引き上げ)、音響設備システムの更新、オンライン予約システムの活用</p> <p>【建物設備の保守点検・維持補修・清掃・警備等】</p> <p>・定期点検、定期・特別清掃、維持補修(空調機修理、鉄扉修理)、機械・巡回警備等の実施</p>
	②施設の運営業務	<p>【各種事業・展覧会等の企画・実施】</p> <p>・主要事業「ちびっこうべ2022」「オープンKIITO」等大型集客催事の実施</p> <p>・図書館との連携企画(トークセッション、謎解きゲーム・ウォークラリー、連携棚設置)による図書館来館者への訴求</p> <p>・創造的活動に気軽に楽しむ機会の創出(「THERIACA Yarn, Rope, Spaghetti 展」「EARTH STATIONS by AMDL CIRCLE ミケレ・デルツキと未来を共有する建築」「tupera tuperaの工作ワンダーランド」「イダ傘店 翳す」等各種展覧会を開催)</p> <p>・新型コロナウイルスの影響による利用制限や感染拡大防止の対策や配慮を伴う中、上記事業を完遂</p> <p>【KIITO:300】</p> <p>・キャンプ(子どもの創造的活動):常設プログラムの運営、創造教育プログラム開発、キャンパーの育成</p> <p>・ファーム(社会貢献活動):交流拠点の運営、地域活動に関する相談窓口、地域団体向けトークイベント、ゼミの開催、教育機関への講師派遣・授業の開催</p> <p>【クリエイティブラボの運営】</p> <p>・レンタルスペース利用者とクリエイティブラボ入居者とのマッチング、未利用区画の公募(308号室)</p> <p>【情報発信】</p> <p>・Webサイト 1,051,529pv(732,818pv)</p> <p>・SNS発信…Facebook登録者11,399人(11,169人)/Titterフォロワー数3,156人(2,911人)/Instagramフォロワー数6,341人(4,940人)</p> <p>・メディア掲載126件、プレスリリース44回、DM発送727件、メールマガジン登録者2,517件(配信10回)</p> <p>・施設の視察:96件 406人(78件 230人)</p>
	③その他の業務	<p>インフォメーション機能を備えたショップ(KIITO SHOP)をセンター1FにR3.8新設。オリジナル商品やクリエイティブラボ入居者と共同開発した商品の販売、催事に関連したポップアップショップ設置等を行った。</p>
(2)利用状況		4年度の状況 ※カッコ内数値は3年度実績
①施設利用状況		<p>(1)来館者数 実績:275,052人(92,877人) ※R4年度より三宮図書館来館者(R4実績 155,894人)を含む。 R4実績内訳:メインエントランスでカウントした来館数:230,842人/ラボ入居者等による通用口出入32,720人/搬入・時間外入出11,450人</p> <p>(2)自主企画事業への参画者数 ・館内:43,373人(16,186人) ※(1)来館者数の内数 ・館外(アウトリーチ):実績5,105人(2,581人)</p> <p>(3)クリエイティブラボ入室状況: 貸室数:38/38室 入居率100%(R5.3末時点 308号室除く)</p> <p>(4)レンタルスペース稼働率(自主事業による利用を含む) <利用時間/開館時間> ・多目的ホール 66.2%(56.0%) ・ギャラリーC 57.7%(46.4%) ・セミナー・ワークショップスペース 28.7%(26.5%) ・ギャラリーB 40.1%(R4.4～レンタル開始) ・和室(101) 6.5%(R4.4～レンタル開始)</p> <p>利用実績(全室計):498件(236件)前年度比111%増</p> <p>(5)KIITO:300 【キャンプ(こどもの創造的活動拠点)】 常設プログラム利用者数:3,052人(R3.10～R4.3 493人) キャンパー(運営サポートボランティア)登録者数 189人(R5.3末時点) 前年度末116人</p> <p>【ファーム(社会貢献活動支援)】 ・地域活動団体や個人、教育機関、企業等からの相談に対する対応件数 23件(29件) ・社会課題解決等に向けた活動の支援や連携の件数 66件</p>
	②その他利用状況	<p>・カフェ運営 :来客数 9,770人 (7,266人)</p> <p>・ショップ運営:来客数1,368人 (134人※R3.8OPEN)</p>
(3)収支状況		4年度の状況 ※カッコ内数値は3年度実績
①使用料または利用料金収入		<p>■利用料金収入 88,674,246円(85,309,949円) (内訳)ラボ 47,095,200円(42,715,724円)、レンタルスペース他 31,354,946円(33,828,125円)、 駐車場10,224,100円(8,766,100円)</p>
	②指定管理者の収支状況	<p>■収支差額 0円 (13,992,280円)</p> <p>・収入総額 245,400,102円 (205,783,336円)</p> <p>・支出総額 245,400,102円 (191,791,056円)</p>
(4)その他		4年度の状況
①上記以外の項目で、当該施設特有の項目		別紙【補足評価票】参照

3. 主な提案内容と達成状況(再掲)

	提案内容(目標値など)	達成状況
①利用者数または利用率	<p>(1)来館者数:285,460人 ※R4年度より三宮図書館来館者を含む。</p> <p>(2)自主企画事業への参画者数 ・館内:28,450人 ・館外(アウトリーチ):3,500人</p> <p>(3)ラボスペース 稼働率 85%</p> <p>(4)レンタル稼働率 <自主事業を含まない> ・多目的ホール 9% ・ギャラリーC 20% ・セミナー・ワークショップスペース 10%</p>	<p>(1)来館者数:275,052人(前年度:92,877人)達成率96% ※目標未達成について、図書館来館者想定値が通年(12か月/170,000人)に対し、実際の開館は8か月程度(R4.7.26開館/155,894人)となったことが要因</p> <p>(2)自主企画事業への参画者数 ・館内:43,373人(達成率152%) ・館外(アウトリーチ):5,105人(達成率145%)</p> <p>(3)ラボスペース 稼働率100%(308除く)</p> <p>(4)レンタル稼働率 <自主事業を含まない> 参考:自主事業を含む稼働率 33.0% 66.2% 17.0% 57.7% 24.5% 28.7%</p>
②収入目標額	76,250,000円(前年度66,450,000円) ※指定管理料を除く	124,612,308円(前年度 92,783,336円)
③その他新たなサービス		

4. 利用者の満足度調査等

	4年度の状況 ※カッコ内数値は3年度実績
①満足度調査の実施内容	<p>(1)指定管理者主催の事業(子ども向け除く)への参加者アンケート 1,610人(698人)回収率10.8%</p> <p>(2)指定管理者主催の事業(子ども向け)への参加者アンケート 124人 回収率:95%(昨年度実施なし)</p> <p>(3)施設利用・アクセスに関するアンケート(来館者を対象に3日間スポット実施) 335人(234人)回収率14.0%</p> <p>(4)レンタルスペース利用者アンケート 260人(119件)</p> <p>(5)クリエイティブラボ入居者アンケート 入居団体 36件(34件)</p>
②満足度調査の結果	<p>(1)指定管理者主催の事業(子ども向け除く)への参加者アンケート ・KIITO主催のイベントへの参加は。 初めて55% 2回目15% 3回目7% 4回目以上23% ・プログラムに満足したか。 よかった77% まあまあよかった18% あまりよくなかった1% よくなかった0% 無回答4%</p> <p>(2)指定管理者主催の事業(子ども向け)への参加者アンケート ・イベントは楽しかったですか。 楽しかった93% まあまあ楽しかった6% あまり楽しくなかった1% ・イベントの中で初めてやったことや新たな発見はありましたか。 あった81% なかった18%</p> <p>(3)施設利用・アクセスに関するアンケート ・センターへのアクセスに関する意見、要望 このままでよい54% 来館者用の駐車場を増やしてほしい16% バスの本数を増やしてほしい8% ・総合的な施設の満足度 よかった57% まあまあよかった37% どちらでもない4% よくなかった・あまりよくなかった0%</p> <p>(4)レンタルスペース利用者アンケート ・レンタルスペース利用の感想・評価 非常に良い81% まあまあ良い17% 普通2% あまり良くない0% 悪い0% ・特に良かった点(記述式・複数回答109件) 建物の雰囲気が良い31件 スタッフの対応27件 広さ15件 料金が安価8件</p> <p>(5)クリエイティブラボ入居者アンケート ・センターの満足度:満足58% やや満足23% 普通19% ・センター事務所のスタッフの対応:満足80% やや満足10% 普通10%</p>
③利用者からの主な苦情、意見とそれへの対応	<p>【レンタルスペース利用者】 ・備品に関する改善の要望を受け、音響機材を高機能のものに買替えたほか、机・椅子について古いものを更新し、特別清掃を実施。</p> <p>【クリエイティブラボ入居者】 ・R4年度中に複数回エアコンが故障したが、補修対応とともに冷風機をリースし暑さ対策を行い迅速に対応した。R5年度中に機器の遠隔監視及び即時通知が可能なシステムを導入予定。 ・共用スペースの清潔度向上に対する要望に対し、清掃範囲・方法の見直しを行い、清掃の精度を高めた。 ・入居者用の共用ポストが不便だとの声を受け、設置場所のアンケートを実施。R5年度に移設予定で調整中。</p>

5. 選定評価委員会の評価

管理運営に対する総合評価	○AAA ●AA ○A ○B ○C
所見	<p>①多様な事業を展開し、利便性向上の取組も実施しており、高く評価できる。三宮図書館の移転を契機に、さらなる積極的な展開を期待する。</p> <p>②自主企画事業については、非常に多様な事業を実施していることは素晴らしい。しかし、指定管理者の事業体キャパシティに対して、かなりのボリュームの事業を展開しているのではないかと。事業規模のバランスを検討されたい。</p> <p>③多額の公費を投入していることを踏まえ、事業ごとの収支状況の把握及び費用対効果の検証が必要である。イベント参加者や視察者からの料金徴収も検討するなど、全体の最適化を図られたい。</p> <p>④報告書の用語において、自主事業と自主企画事業の混同が見られる。神戸市においても当該事業の考え方を明確にし、双方確認の上で、指定管理制度に則った用語の整理を行うこと。</p> <p>⑤ホームページについて、初見の方にとってわかりやすくなるよう、施設の活用方法や事例を具体的に掲載するなど、工夫・改善されたい。</p> <p>⑥修繕費執行における見積合せ等について適正に実施されたい。</p>

<p>評価項目</p> <p>※アンケート結果に対して行った対応がある場合は、あわせて記載ください。</p>	<p>指定管理者の自己評価</p> <p>※要点を踏まえて簡潔に</p>	<p>施設所管課の評価</p>
<p>① KIITO:300「こどもの創造的学び」と「社会貢献活動」のプラットフォーム</p> <p>創造的人材の育成、創造的活動の交流、社会貢献活動の活性化のため、交流拠点として、どのような工夫をして管理運営を行ったか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ こどもの創造的学びのプラットフォーム「KIITO:300キャンプ」、及び社会貢献活動のプラットフォーム「KIITO:300ファーム」では、利用者及び利用団体の拡充を実現した。 ・ 「KIITO:300キャンプ」においては、利用案内（パンフレット）の作成に加え、KIITOのウェブサイト、SNS、館内掲示等で開室時間や活動内容を継続的に発信した。「KIITO:300ファーム」においては、開設以降の利用状況を検討しながら開室時間の見直しを実施した。 ・ また、KIITO:300を会場とした活動や団体、活動に関する知見を集積するプログラムの実施（後述①-2）を通して、交流拠点としての機能を果たした。 ・ こどもの創造的学びの推進、及び社会貢献活動での団体等の利用に関しては、利用者登録制ではなく、利用目的や参加対象を確認した上で、設置目的に合う利用の集積を継続的に図った。利用実績は合計で74件となり、継続的利用、活動拠点としての認知も高まっている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 継続的な広報・周知活動により、活動拠点としての認知が徐々に広がり、団体による継続利用も見られ、安定的に運用されている。今後もより多くの団体に利用されるよう、認知度向上や、団体へのサポート・支援等を通じ、利用促進に努められたい。 ・ センターのウェブサイトの「KIITO：300」に関する案内については、利用方法や活動事例など、利用を検討する団体にとって十分な情報を掲載されるよう、改善されたい。また、これらの情報を見つけやすく、わかりやすく、十分に情報が伝わるよう掲載方法も工夫を図っていただきたい。 ・ またSNS等を通じた効果的な情報発信や、様々な機会を通じた対象団体への広報活動についても積極的に行っていただきたい。
<p>①-1 KIITO:300【こどもの創造的学びに関する事業】</p> <p>（こどもの創造性を育む場の常設、こどもの創造性を育むプログラムを実施する個人・団体等への場所の提供・支援を行う）</p> <p>・ どのような運営を行い、どのような成果があったか、下記(1)(2)の事項を含めて記載すること。</p> <p>(1)多くのこどもがKIITO:300を繰り返し利用、参加したくなるよう、どのような工夫を行ったか。</p> <p>(2)創造的学びの「プラットフォーム」として、個人・団体等がこどもの創造性を育むプログラムを実施できるよう、実施支援や事業者間交流について、具体的にどのような支援を行ったか。</p> <p>※自主事業での実施プログラムについては、⑧の欄に記載すること。</p>	<p>(1) 土日祝を中心に廃材等を使用できる自由工作やボードゲームを体験できる常設プログラムの提供、短期から中長期にわたる多様な創造教育プログラムの開発と実践を推進した。</p> <p>常設プログラムの利用者はのべ3,052人となり、利用者数は確実に伸びている。リピーター（3月実施のアンケートでは38%）に向けては、繰り返し参加いただけるように提供プログラムの拡充を行った。</p> <p>(2) 「こどもの創造的学び推進実行委員会」事務局運営、及び委員としてプラットフォーム構築に参画した。「こどもの創造性を育む団体活動助成」助成団体のKIITO:300利用に関しては、2021年度採択団体の継続的利用、及び2022年度の助成団体の利用もあり、プラットフォームとして一定の認知を得たと考える。上記実行委員会、及び助成関連での利用と、金融教育や建築教育など多様なプログラムを合わせると11件の利用があった。</p> <p>企業や団体と共に行う創造教育プログラムの開発にも継続して注力し、大丸神戸店、株式会社アシックス、株式会社フェリシモ、神戸市シルバークレッジ、武庫川女子大学、VIVIWARE株式会社/VIVITA JAPAN株式会社との連携を果たした。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 常設プログラムについて利用者は着実に増加しており、約4割がリピーターであることから、一定の満足度を得ていると評価できる。一方、開設当初に想定した利用対象年齢と、実際の利用者の年齢層が異なっていた点や、令和5年度実施予定の利用者属性や満足度の調査等を踏まえ、資材・設備等やプログラムの内容・運用方法については改めて見直し、工夫・改善を行っていただきたい。 ・ 子ども向けワークショップについては、企業や教育機関と連携するなど、多様な独自のプログラムの実施・集積を行い、参加者のアンケートにおいても99%の満足度であるなど、高く評価できる。今後、これらのプログラムについて、市内各地で展開されるようなアウトリーチや、自主事業以外のKIITO:300実施プログラムが市内各地で実施できるような後方支援等を展開し、より多くの子供たちが様々なプログラムに触れる機会を提供していただきたい。

<p>評価項目</p> <p>※アンケート結果に対して行った対応がある場合は、あわせて記載ください。</p>	<p>指定管理者の自己評価</p> <p>※要点を踏まえて簡潔に</p>	<p>施設所管課の評価</p>
<p>①-2 KIITO:300【社会貢献活動の支援事業】</p> <p>・市民が社会貢献活動に意欲的に取り組めるような支援や仕組みづくりを行う拠点として、どのような運営を行ったか、個人や団体への具体的な支援事例や、仕組みづくりの内容を含めて記載すること。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・社会貢献活動、地域活動に関する相談窓口を設置し23件の相談に対応した。相談からは、継続した事業サポートや、センターとの協働につながる内容もあり、プラットフォームとしての役割を果たせたと考える。 ・社会貢献活動や地域活動を行っている個人や団体をプレゼンターに迎えて活動を発信し、交流を図る「300秒プレゼンテーション交流会」、活動に関するレクチャーと課題を共有して交流と連携を深める「地域課題解決＋クリエイティブトーク」などの継続的な開催を通して利用団体等との交流を促進するとともに、交流拠点としての機能と認知も向上した。 ・また、教育機関との連携事業や学生活動支援、インターンの受け入れ（後述⑧）なども積極的に実施した。 	<ul style="list-style-type: none"> ・各プログラムの認知度が広がったことにより、参加者や相談者が増加し社会貢献活動の裾が広がっている。 ・三宮図書館の開館を契機として、より多くの市民が社会貢献活動に参画できる交流拠点の仕組みづくりに積極的に取り組んでいただきたい。
<p>② 創造的活動の支援について</p> <p>・①以外の事業において、センターで創造的活動を行おうとする多様な人材、団体等に対して、どのような支援を行ったか。具体的な事例を含めて記載すること。</p> <p>※ラボ入居者への支援については、⑥の欄に記載すること。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・レンタルスペース利用者からの音響や設営、催事のパンフレットやウェブサイト制作などの要望に対して、クリエイティブラボの得意分野をマッチングさせ、双方の満足度向上に努めた（6件の紹介で3件成立）。 ・周辺施設とのリレーションとして、三宮再整備に伴う新たな文化施設として中央区役所と合築された「中央区文化センター」の指定管理者である公益財団法人神戸市民文化振興財団 中央区文化センターを訪問して情報交換を行った。 ・レンタル利用者が主催するイベントについても、希望があれば、ウェブサイトへの掲載やチラシの配架、ポスター掲示などの広報サポートを積極的に行った。 	<ul style="list-style-type: none"> ・レンタルスペース利用者とクリエイティブラボ入居者とのマッチングなどはKIITO独自の取組として評価できるものであり、今後も継続して取り組まれたい。 ・今後も、センターで創造的活動を行おうとする団体等の企画内容の充実や専門家の紹介などについても、積極的に支援するよう努めていただきたい。
<p>③ 都心・ウォーターフロントエリアの活性化</p> <p>・立地特性を生かし、周辺施設とどのような協働を行っているか。</p> <p>・三宮図書館（R4.7 2階に仮移転）と相乗効果を生み出すため、どのような取り組みを行ったのか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・こども本の森 神戸、URBAN PICNIC（東遊園地）、神戸市立三宮図書館、デザイン・クリエイティブセンター神戸によるフラワーロード一帯の活性化と文化形成を目的にした連携「さんぼみや」は、ウェブサイトの開設、イベント「ナイトピクニックさんぼみや」の実施などを通じた具体的な連携が一帯のにぎわいの創出につながった。 ・ウォーターフロントエリアの活性化に向けては、株式会社神戸ウォーターフロント開発機構に協力し、「新港西地区まちのビジョン」構築への協力（ワークショップへの参加、会場の提供）も継続的に行っている。また、周辺企業約30社が加盟する「ポートループ利用促進部会」に参加し、センターの紹介と認知向上、広報連携などを行った。 ・神戸税関からは税関150周年事業への協力依頼があり、「KIITOナイトミュージアム」と題して同時期に開催されていた展覧会の夜間オープン、センター外観のライトアップを実施した。なお、2012年以降のセンターからの協力に対して、神戸税関から「税関運営功労者」として表彰を受けた ・三宮図書館との連携では、移転オープンを記念したナゾトキウォークラリーの実施、図書館内にセンターに関わるクリエイターの選書コーナー（棚）の設置といった具体的な連携だけでなく、図書館や文化芸術施設といった公共空間のもつ社会的な役割を考えるトークイベントを通して連携の可能性や展望を市民と共に考えた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・周辺施設で連携した「さんぼみや」や三宮図書館との連携事業については、賑わい創出や相乗効果、施設間の連携強化につながっており、高く評価できる。 ・ウォーターフロントエリアの開発に伴う周辺環境や人の流れの大きな変化を見据え、またエリアマネジメントの視点も踏まえ、KIITOの求められる役割・機能についても柔軟な見直しを検討されたい。 ・図書館移転に伴う新規来館者の増加を好機とし、KIITOの新たな利用者開拓・定着につながるよう、館内の利用案内の工夫や、館内の回遊性を高める仕掛けづくり、双方の催事PRの連携実施など、図書館と連携して取り組み、相乗効果を最大化していただきたい。

<p>評価項目</p> <p>※アンケート結果に対して行った対応がある場合は、あわせて記載ください。</p>	<p>指定管理者の自己評価</p> <p>※要点を踏まえて簡潔に</p>	<p>施設所管課の評価</p>
<p>④ 創造的活動に係る情報の発信・ネットワークの構築を図るための取り組み</p> <p>センターで行われる創造的活動を広く発信し、多くの市民参加を促進するため、どのような工夫を行ったか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ プレスリリース配信、センターのウェブサイト運用、メールマガジン配信、フライヤーやポスターでの周知、SNSの戦略的な活用を柱に情報発信を継続した。 ・ 特に、センターのウェブサイトにおいて、PVが2019年度水準に回復した2021年度からさらに30万PV程度増加（1,051,129PV）、ユーザー数も8万程度増加となり、確実な情報発信ができていると考える。自主事業参加者へのアンケートでは、「参加イベントを知った理由」としてウェブサイトが1位であることから、情報発信が確実に市民の参加につながっている証左と考える。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 積極的な情報発信により、ウェブサイトPV数やSNS関連数値に関して着実に成果が上がっている。デザイン性や内容に優れたパンフレット等の刊行物においても、高く評価できる。 ・ センターのウェブサイトについては、情報は充実しておりデザイン性も優れているが、KIITOを初めて知る層にとってはわかりにくく、知りたい情報にアクセスしにくいなど課題が残る。情報の整理や掲載箇所の見直しなど、さらなる改善に努められたい。
<p>⑤ 共用部（クリエイティブラウンジ、プロジェクトスペース等）の活用</p> <p>施設の魅力を高められるよう、どのような取り組みを行ったか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 感染症拡大予防が求められていた2022年度においても、継続してメインエントランス、西エントランスには、アルコール消毒とサーモグラフィーと人工知能（AI）による非接触体温計測を設置し、来館者の安全・安心に努めた。 ・ プロジェクトスペースは入居者を主な対象とするミーティングスペース、休憩スペースとして、特設ウェブサイトでの予約制で運用した。利用実績は851件（前年度730件）となった。 ・ ライブラリについては、三宮図書館移転を機にプロジェクトスペース2Bとの一体的な運用を開始し、来館者に対する情報提供の拡充、休憩できるスペースとして供用を開始した。 ・ クリエイティブラウンジにおいてはセンター全体のロビー的機能を果たすと共に、30メートルのカウンターは十分な照度の確保、電源の設置などでリモートワークや自習等に活用され好評を得ている。 ・ インフォメーション&ショップにおいては運営体制を強化（人員を2倍）し、増加する来館者の案内等に当たった。 ・ プロジェクトアーカイブである+クリエイティブスタジオでは、来館者にセンターの取り組みや魅力を積極的に伝えるよう管理運営、メンテナンスを行った。3月に実施したセンターの10年をフライヤーのデザインや資料から振り返る特別展示「KIITOクロニクル」は、好評につき継続している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ ライブラリの運用方法変更については、利用者の憩いの場として多くの方に利用されており、スペースの有効活用に繋がっている。また、図書館移転に伴う来館者増に対応したインフォメーション体制強化についても適切な対応として、評価できる。 ・ クリエイティブラウンジについては、令和3年度の整備以降、利用者が増加・定着しており、好評を得ている。今後、感染防止における利用制限の緩和に伴い、施設の賑わいを創出するスペースとしてより効果的に利用されるよう、新たな運営・展開について検討されたい。 ・ +クリエイティブスタジオについては、アーカイブ展示のみならず、エントランスやホールに近い場所を活かし、より来館者の賑わい創出・交流拠点に寄与するような機能の追加や変更を検討されたい。 ・ 生糸検査所ギャラリー、ユネスコギャラリーについては、展示の魅力を高められる具体的な工夫・改善について提案をされたい。図書館と近接する場所を生かし、来館者の回遊性や滞留時間を延ばすような仕掛けなど、施設全体の魅力向上につながるよう、空間デザインの視点からも積極的な提案を検討いただきたい。

<p>評価項目</p> <p>※アンケート結果に対して行った対応がある場合は、あわせて記載ください。</p>	<p>指定管理者の自己評価</p> <p>※要点を踏まえて簡潔に</p>	<p>施設所管課の評価</p>
<p>⑥クリエイティブラボの運営</p> <p>どのような取り組みを行ったのか、下記(1)(2)の事項を含めて記載すること。</p> <p>(1)クリエイティブラボ入居者の満足度を上げるため、どのような工夫を行ったか。</p> <p>(2)センター及び入居者双方の価値を高めるため、どのような連携を行ったか。</p>	<p>(1) 2021年度からクリエイティブラボ担当の専任スタッフ1名を配置し、入居者オフィスを訪問しての対面でのコミュニケーションとメールリストでの情報発信の強化を行うなどリレーションの頻度を高めた結果、入居者アンケートでは施設全体の満足度が80%、スタッフの対応については90%が満足と回答いただいている。</p> <p>(2) 企画事業部門とプロパティマネジメント部門、クリエイティブラボ入居者が一体となり開催した3/5(日)の「オープンKIITO」では、事前の連携ミーティング、館内装飾、開催当日のワークショップとオープンスタジオなどを通じて市民に広くセンターとクリエイティブラボの活動の認知を高めた。開催に合わせ、クリエイティブラボを紹介する「お仕事カード」を更新し、継続してメインエントランスに配架している。</p> <p>また、レンタルスペース利用者からの音響設営、販促物の制作など要望に対してクリエイティブラボの得意分野を繋いで、双方の満足度向上に努めた。</p>	<p>・クリエイティブラボについて、入居者との密なコミュニケーションや、相談・要望に対する迅速・丁寧な対応等、入居者のサービス向上に取り組まれており、アンケートの高評価や入居率の高さに現れている。</p> <p>・「オープンKIITO」の開催については、ラボ入居者同士の交流促進の場となり、また市民との交流の場の創出やラボの認知度向上につながっており、高く評価できる。</p> <p>・一方、創造的活動に携わる事業者が集積するラボの特性を十分に生かし切れていない部分がある。ラボ入居者とレンタルスペース利用者とのマッチングなどは行っているが、センターで行われる様々な事業や活動に関わり、巻き込んでいくような仕掛けや働きかけを行っていただきたい。</p>
<p>⑦ レンタル施設・駐車場等の満足度及び利用率向上に向けた取組</p> <p>・KIITOホール、セミナー・ワークショップスペース、ギャラリー、駐車場等、利用者の満足度向上及び利用率の向上のため、どのような取り組みを行ったか。</p>	<p>・従来のレンタルスペースに加えて、新たにギャラリーBと101（和室）の供用を開始、神戸水上消防署と協議し、多目的ホール（KIITOホール、ギャラリーA）の収容人数の見直しを実施するなど、利用者の利便性を図るとともに、利用の幅を広げることで稼働率の増加に努めた。</p> <p>・開設から10年を経たことによるレンタルスペース備品の老朽化に伴い、音響設備の入れ替え、椅子の洗浄、会議室・ギャラリーの机の刷新など、メンテナンスと更新を順次行っている。</p> <p>・2021年度に設置した有料一時利用駐車場（13区画）については、開館時間中は満車となっている時間が多く、ウェブサイトで満空が確認できるようにしている。また、駐車場に関する照会があれば周辺の駐車場を案内している。</p>	<p>・レンタルスペースの積極的な利用促進や、機材の充実化や収容人数の見直し等の利便性向上の取組、レンタル利用者への丁寧な対応・サポートにより、稼働率の大幅な向上や利用者の満足度につなげ、高く評価できる。</p> <p>・今後も、コロナ後の利用者増の機会を捉え、新たな利用者層の開拓や、施設の特徴・センターの支援等を活かした利用方法の提案などを含め、より積極的なプロモーションにより、さらなる稼働率向上に努められたい。</p> <p>・レンタルスペースを自主企画事業として利用する場合には、同スペースが市民が文化事業の活動に利用するための場所であることを踏まえ、市民の利用機会の確保及び利便性向上、また貸館事業による適切な収入の確保の観点から、可能な範囲で自主企画事業の実施時期やスペースについて調整を図り、市民の利用機会を創出いただきたい。</p>

<p>評価項目</p> <p>※アンケート結果に対して行った対応がある場合は、あわせて記載ください。</p>	<p>指定管理者の自己評価</p> <p>※要点を踏まえて簡潔に</p>	<p>施設所管課の評価</p>
<p>⑧ 上記項目以外において、KIITO条例第1条に定める設置目的を達成するため、具体的にどのような運営・事業を行ったか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自主事業関連は本項目にて記載 ・特にこどもの創造的学びに関する事業については必ず記入を。 	<p>〈「ちびっこうべ2022」の開催〉</p> <p>子どもたちの創造力を育むプログラムとして、2年に1度開催しているセンターの看板プログラムを、感染症拡大予防に配慮し、事前申し込み制により来場人数制限をしながら開催した。</p> <p>子どもだけが入場できる夢のまちの中で、様々な職能を持つプロから学ぶ仕事体験や、仕事で得た専用通貨（キート）を使っの買い物やプログラムへの参加などを2,000人以上の子どもたちが体験した。</p> <p>開催期間中には、経済産業省デザイン政策室や国際交流基金などからの視察もあり、プログラムの注目の高さがうかがえた。</p> <p>〈大型集客催事の実施〉</p> <p>感染症拡大予防対策の緩和（定員制限等の緩和）に伴い、2023年3月の「オープンKIITO 2023」では、飲食を含めた制限のないプログラムの提供が可能となり、4,213人の事業参画者を得た。同催事では、センター内のリレーション強化が、クリエイティブラボ全入居者の開催協力というかたちで証明された。</p> <p>〈来館者増との相乗効果の発揮〉</p> <p>事前申し込みをせずに参加できる企画、特に展覧会の実施（「THERIACA Yarn, Rope, Spaghetti 展」「EARTH STATIONS by AMDL CIRCLE ミケーレ・デ・ルッキと未来を共有する建築」「つくろう！さがそう！やってみよう！tupera tuperaの工作ワンダーランド」「イイダ傘店 翳す」）を通し、市民が創造的活動に気軽に親しむ機会を創出、還元できた。</p> <p>〈創造的活動を支援する人材の育成〉</p> <p>センターのさまざまなイベント・プログラムの運営を補助するボランティアスタッフ組織「KIITOサポーター」、及び「KIITO:300キャンプ」において実施する子どもの創造性を育む活動におけるワークショップやイベントの運営サポートをするボランティアスタッフ「キャンパー」を組成し、様々なプログラムへの参画を進めている。「サポーター」は1,135人の登録があり、のべ791人がセンターの活動をサポート、「キャンパー」は189人の登録があり、のべ273人が活動をサポートした。キャンパーがプログラムを企画提案、実施運営するなど主体的な活動が行われており、継続して活躍機会の創出を図る。</p>	<p>・「ちびっこうべ2022」「オープンKIITO」等の大型催事の開催について、コロナの影響が残る中、適切な感染対策や運営上の工夫・配慮を行い、多くの市民が参加し創造的活動に親しむ機会を提供されている。KIITO独自の取組として価値向上にもつながっており、市民への還元も果たしている点で、これらの自主企画事業はいずれも高く評価できる。</p> <p>・子どもの創造的学びに関する事業に関しては、長期的な人材育成の視点でも高く評価できる。今後は、より多くの子どもたちが、これらの優れた取組を通じた様々な経験・学びに触れる機会を広く提供できるよう、開発したプログラムの横展開やアウトリーチなどの展開をいただきたい。</p> <p>・「サポーター」「キャンパー」については、KIITOの事業運営を支える重要な役割を担うとともに、人材育成・活躍機会創出の場となっている。KIITOのプログラムの横展開やアウトリーチの担い手としての役割も含め、育成された人材がより活動の幅を広げられるような育成・支援を行っていただきたい。</p>

<p>評価項目</p> <p>※アンケート結果に対して行った対応がある場合は、あわせて記載ください。</p>	<p>指定管理者の自己評価</p> <p>※要点を踏まえて簡潔に</p>	<p>施設所管課の評価</p>
<p>評価委員会の意見</p>		
<p>① 【全体の評価】</p> <ul style="list-style-type: none"> 多様な事業を展開し、利便性向上の取組も実施しており、満足度も非常に高く評価できる。 <p>② 【図書館移転の機会を捉えた展開】</p> <ul style="list-style-type: none"> 図書館の移転を機に、来場者数の大幅な増加とともに、これまでKIITOに来られなかったような方々も来館されるなど、利用者層が広がりを見せている。 図書館の移転を大きなチャンスと捉え、図書館の入居を特長として打ち出せるような、多様性を活かした連携プログラムの実施や、館内の回遊性を高める施策の実施などを、より積極的に取り組まれない。 <p>③ 【自主企画事業の事業規模・費用対効果の検証】</p> <ul style="list-style-type: none"> 自主企画事業については、非常に多様な事業を実施していることは高く評価できる。 一方、多額の公費を投入していることを踏まえると、各事業にどの程度費用が掛かっているかという視点が必要ではないか。今後、各事業の収支の把握、費用対効果の評価・分析を実施されたい。 また、かなりのボリュームの事業を実施しているが、指定管理者の持つキャパシティを超えていないか、従事するスタッフの負担超過となっていないかが懸念される。キャパシティを超えない適切な事業規模・バランスとなるよう、配慮されたい。 事業内容を鑑みたくえで、事業によってはイベント参加者や視察者からの料金徴収も検討するなど、収入改善の取組も検討されたい。 報告書の用語において、自主事業と自主企画事業の混同が見られる。神戸市においても当該事業の考え方を明確にし、双方確認の上で、指定管理制度に則った用語の整理を行うこと。 <p>④ 【広報】</p> <ul style="list-style-type: none"> ホームページについて、初見の方にとってわかりやすくなるよう、施設の活用方法や事例を具体的に掲載するなど、工夫・改善されたい。 <p>⑤ 【運営管理の適正化】</p> <ul style="list-style-type: none"> 修繕費執行における見積合せ等について適正に実施されたい。 		